



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	一人称研究から考察するNFT市場における新たな芸術的価値〔論文内容及び審査の要旨〕
Author(s)	布川, 雅子
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(国際広報メディア)
Dissertation Number	甲第15618号
Issue Date	2023-09-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/90901
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Masako_Nunokawa_abstract.pdf, 論文内容の要旨



学位論文内容の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（国際広報メディア）

氏名：布川 雅子

学位論文題名

一人称研究から考察する NFT 市場における新たな芸術的価値

本論文は、非代替性トークン（NFT）技術が「オリジナル」の価値を流通させる特徴が、アートにどのような影響を与えているかを跡づけ、芸術における価値と権威について、新たな見解を示すものである。NFT のような先端技術は進化のスピードが速く、通常の観察だけで追いかけて続けるのは難しい。そこで、NFT アート市場に自ら飛び込み、一人称研究として実施した。

第1章と第2章では、芸術的価値と権威が結びついてきた歴史と、ブロックチェーンの革新的な技術を用いた NFT アートの登場が、アートシーンの構造を変え、芸術作品の価値づけのプロセスを変えていくさまなどを背景知識として述べた。2021 年から 2022 年にかけて起きた NFT アート市場の急成長は、とりわけアートシーンにとって衝撃だった。

かつての中央集権的な構造のアートシーンでは、一部の権威的な立場にある組織や構成員たちが芸術に対して価値を加えていた。しかし、暗号資産を用いた相対での取引は、ブロックチェーン上に NFT マーケットプレイスでの取引や所有のデータが記録され、誰にでも閲覧できる仕組みで、アート作品を売買出来るプラットフォームが用意されている。市場の参加者に富裕層だけではなく、一般のアートファンが含まれている点も特徴的だ。従来はギャラリストや美術評論家が芸術の価値を形成し、アートディーラーの仲介によって芸術作品は取引されてきた。だが、芸術作品の真正性や唯一無二性が確保され、透明性の高い環境が整えられたことで取引のスピードは格段に早くなり、芸術は身近なものとなった。

第3章では、芸術的価値と権威や芸術家の労働対価との関係、アールブリュットなどの新しい芸術の動き、コミュニケーション資本主義とのつながり、などを軸に、先行研究を整理した。

第4章では一人称研究をはじめとする、本研究の道具立てを示した。

第5章の予備調査で、NFT アート市場の具体的な様相を明らかにした後、第6章では、実際に NFT アート市場に参入、従来のアート市場と比較検討し、アート作品に対する価値の付与はどのように変化するのかについて、新たな仮定を生成した。

第7章・第8章・第9章では、NFT アート市場での経験について考察した。

以上を総合して、第10章で以下のような結論を得ることができた。

文化や社会の構造はこの半世紀で激変しており、その背景には著しい技術の進歩があげられる。大規模なメインフレームの時代からパーソナルコンピュータの時代を経て、インターネットを誰もが使いこなす時代へと移行した。デバイスの小型化やクラウドの利用が促進され、近年では AI が提供するデータの流通や利用と分散型システムが標準化され、暗号資産をはじめとす

るブロックチェーン技術に関連する市場が拡大した。ブロックチェーン上のデジタル資産の一つである NFT は、個々のアイテムや作品に対して独自の識別情報を持ち、真正性の確認ができる。これまで真贋を証明することが難しかったデジタルアートの価値は担保され、取引量は急増した。権威が創出する芸術的価値ではなく、大衆が芸術を楽しむための「遊戯空間」の誕生によって、これまでと異なる芸術の価値が、われわれの身近なところで誕生しつつある。コミュニケーション手段や創作表現は変化し、そのことで互酬性のあり方や倫理観にも影響があるはずだ。歴史の中では何度も既存の価値観を壊すカウンターカルチャーが生まれ、アートシーンは新陳代謝が行われてきた。しかし、これまで追及されてきた「芸術のオリジン」とその価値について、今一度考察する時期に来ているのではないか。芸術の持つ社会的な意義は構造の中で変化し、個々の芸術に対する意識も変わってきている。NFT アートのプラットフォームの特徴は、アートシーンだけでなくアート作品にも反映され、新たな価値観が誕生するだろう。それは劇的な変化というよりは、IT 技術の進化とともに生活者の中に自然な形で浸透し、楽しみながらコミュニティの中で育まれる価値観なのかもしれない。この静かに進行する変化は、いずれアートシーンの構造と権威のあり方に対し、大きな影響を与えるに違いない。